

神楽坂シネマ倶楽部

第7回
開催

私と映画の 75年

～心に残る珠玉の映画①
日本映画編～



戦後の日本映画は戦時中満を持していた小津安二郎、溝口健二、黒沢明、成瀬己喜男、木下恵介らの巨匠達により、名作が続々と誕生した。世界に誇る小津『東京物語』、溝口『雨月物語』、黒沢『生きる』『七人の侍』、成瀬己喜男『浮雲』、木下恵介『二十四の瞳』等があげられる。そして種々の秀作——『飢餓海峡』『幕末太陽伝』『家族ゲーム』『泥の河』『新聞記者』等が続いた。加えて直近では 2023 年キネマ旬報1位の『せかいのおきく』、2位の役所広司主演の話題作品『PERFEECT DAYS』である。それらを映画鑑賞歴 70 数年の講師が、縦横無尽に解説をいたします。振るってご参加ください。なお当日参加の方には、一部教材として使用する講師の著作 2023 年 3 月発行『私と映画の75年』（223 頁）を贈呈いたします。

- 日 時：2024 年 4 月 9 日(火) 19:00-20:30
- 会 場：神楽坂 commons 1st (本多横丁中ほど)
- 講 師：寺田 弘 (NPO 粋なまちづくり倶楽部顧問、前理事長)
- 参 加 費：ひとり 1,000 円
- 定 員：15 名(先着順)
- 申し込み先：講座名・氏名・連絡先電話番号・メールアドレスを記載のうえ、以下へメールでお申し込み下さい
event.common@gmail.com



*次回は 5 月に同講師による「心に残る珠玉の映画② 外国映画編」を予定しています。

